

記入例ー収集運搬業者用ー

計 7 枚中の 1 枚目

令和 7 年度 産業廃棄物処理実績報告書（特別管理産業廃棄物を除く）

廃棄物処理業の許可番号を記入

提出年度を記入

ー 収集運搬業者用 ー

報告日	令和 7 年 5 月 20 日
許可番号	046*****
住所	鹿児島県○○市○○丁目○○
フリガナ	マルマルケンセツ
法人名	株式会社 ○○建設
フリガナ	マルマル
代表者氏名	代表取締役 ○○ ○○
電話番号	099*****

鹿児島県知事 殿
必ずトン単位で記入。量が少ないものも、少数点以下の値で記入。
また、桁区切りのカンマ「,」と少数点の「.」は、はっきり区別して記入する。

FAX及びメールをお持ちの事業者のみ記入	
FAX番	099*-***-***
メールアドレス	abcd@marumaru.co.jp

令和 6 年度分
種類のコード番号は、コード表①を使用。
業種のコードは番号は、コード表②を使用。

業者のコード番号は、コード表④を使用。
コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6桁を記入。判らないときは空欄のままで可。

処理方法のコード番号は、コード表③を使用。

座版等で可。ただし、法人名及び代表者氏名にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

※区間運搬業者A、Bは、処分業者までの運搬を区間委託で行った業者のみ記入

産業廃棄物	排出元	※区間運搬業者A	収集運搬業者B	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類(受託量(トン))	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
がれき類	1,520.92	(株)○○産業	○○市		県内持ち込み
コード表①	1501	コード表②	090	コード表④	345678

産業廃棄物	排出元	※区間運搬業者A	収集運搬業者B	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類(受託量(トン))	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
廃プラスチック類	10	(株)○○工業	○○町		県内持ち込み
コード表①	0699	コード表②	110	コード表④	123456

産業廃棄物	排出元	※区間運搬業者A	収集運搬業者B	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類(受託量(トン))	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
汚泥	30	(有)○○工務店	○○県		県内持ち込み
コード表①	0201	コード表②	090	コード表④	987654

産業廃棄物	排出元	※区間運搬業者A	収集運搬業者B	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類(受託量(トン))	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
金属くず	40	(株)○○電設	○○市	(株)○○セキ	○○町
コード表①	1299	コード表②	110	コード表④	567890

廃棄物の発生場所を記入する。
県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。(※排出事業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所です。)

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

県外から県内への持ち込み、県内から県外への持ち出しの「あり・なし」を必ず記入する。

記入例－中間処理業者用－

複数の施設がある場合は、施設毎に「通し番号」を付ける。

令和 7 年度 産業廃棄物処理実績報告書（特別管理産業廃棄物を除く）

計 7 枚中の 1 枚目

提出年度を記入

廃棄物処理業の許可番号を記入

鹿児島県知事 殿

処理施設の概要

通し番号	1
施設の種別	木くず・紙くずの焼却施設
施設の所在地	〇〇市〇〇1-1
処理方法コード	201
許可品目	木くず・紙くず
処理能力	4トン/日

処理方法のコード番号は、コード表③を使用。

FAX及びメールをお持ちの事業者のみ記入

FAX番	099*-***-***
メールアドレス	aaaa@marumaru.co.jp

報告者

報告日	令和 7年 5月 20日
許可番号	046400000
住所	鹿児島県〇〇市〇〇2丁目〇〇
法人名	株式会社 〇〇環境社
代表者氏名	代表取締役 〇〇-〇〇
電話番号	099*-***-***

座版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

必ずトン単位で記入。量の少ないものについても、少数点以下の値で記入。また、桁区切りのカンマ「,」と少数点の「.」は、はつきり区別して記入する。

種類のコード番号は、コード表①を使用。
業種のコード番号は、コード表②を使用。

業者のコード番号は、コード表④を使用。
コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6桁を記入。判らないときは空欄のままで可。

※残さありの場合、廃棄物の種類、委託量（トン）を記入し、残さ物がない場合は「残さ物なし」欄に「〇」を記入してください。

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	収集運搬業者	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類	受託量（トン）	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
木くず	2.5	(株)〇〇建設	〇〇市	(株)〇〇運送	〇〇市	県内持ち込み
コード表①	080	コード表②	090	コード表④	345678	あり

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	収集運搬業者	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類	受託量（トン）	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
木くず	1.2	(株)〇〇工業	〇〇町	排出事業者運搬		なし
コード表①	080	コード表②	110	コード表④		なし

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	収集運搬業者	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類	受託量（トン）	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
紙くず	0.35	(株)〇〇印刷	〇〇市	(株)〇〇運送	〇〇市	なし
コード表①	070	コード表②	190	コード表④	333333	なし

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理	収集運搬業者	処分業者	県外搬出搬入
廃棄物の種類	受託量（トン）	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地	処理方法
木くず	2.5	(株)〇〇興業	〇〇県	(株)〇〇運輸	〇〇県	あり
コード表①	080	コード表②	090	コード表④	345678	なし

廃棄物の発生場所を記入する。
県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。
（※排出事業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所）

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

残さ物がある場合（中間処理後も残り、その後埋立等により処理される産業廃棄物がある場合。中間処理後有効利用した場合は除く。）のみ記入。
有効利用した場合は、種類毎処理状況に記入。
廃棄物の種類が同一である場合は、一行にまとめて書いても可。

県外から県内への持ち込み、県内から県外への持ち出しの「あり・なし」を必ず記入

記入例－中間処理業者（種類毎処理状況）用－

計

1

枚中の

1

枚目

令和

7

年度産業廃棄物処理実績報告書

－中間処理業者（種類毎処理状況）用－

鹿児島県知事 殿

座版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

報 告 日	令和 7 年 5 月 20 日
許 可 番 号	046400000
住 所	鹿児島県〇〇市〇〇2丁目〇〇
法 人 名	株式会社 〇〇環境社
代表者氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
電 話 番 号	099*-*-*-*-*
F A X	099*-*-*-*-*
メールアドレス	aaaa@marumaru.co.jp

この様式には、排出事業者毎に記入した実績報告書(中間処理業者用)を集計し、産業廃棄物の種類(コード表①の産廃種別大目)毎に、残さの処分までの処理状況をまとめて記入すること。

令和6年度分の産業廃棄物の種類毎の処理状況について、次のとおり報告します。

産業廃棄物の種類	排出元	中間処理の種類	中間処理量	中間処理後量	処分方法	処分先
廃プラスチック類	県内	焼却	50 トン	0.8 トン	管理型埋立	宮崎県
がれき類	県内	破碎	600 トン	600 トン	路盤材等に利用	県内
汚泥	県内	脱水	1,000 トン	20 トン	肥料等に利用	県内
金属くず	県内	破碎	10 トン	10 トン	売却	県内
廃酸(特管)	熊本県	焼却	0.5 トン	0.01 トン	管理型埋立	大分県

中間処理量については、産業廃棄物の種類ごとに受託量を合計したものを記入。中間処理後量については、処分した場合は処分量を、有効利用した場合は有効利用量を、記入。

「処分方法」には、中間処理後量の処分及び有効利用の方法を記入。有効利用や売却している場合も「再生」、「売却」等を記入。

「排出元」及び「処分先」には、それぞれ「県内」、他の都道府県名又は「国外」を記入。

記入例ー最終処分業者用ー

廃棄物処理業の許可番号を記入

計 7 枚中の 1 枚目

提出年度を記入

令和 7 年度 産業廃棄物処理実績報告書

ー最終処分業者用ー

鹿児島県知事 殿

F A X 及びメールをお持ちの事業者のみ記入

F A X 番 号	099*-*-*-*
メールアドレス	bbbb@marumaru.co.jp

必ずトン単位で記入。量の少ないものについても、少数点以下の値で記入。また、桁区切りのカンマ「,」と少数点の「.」は、はっきり区別して記入する。

令和6年度分業廃棄物の処理実績について、次のとおり

施設の所在地を記入

処 分 場 の 概 要	
名 称	鹿児島県環境センター処分場
所 在 地	鹿児島県鹿児島市大字
施 設 の 種 類	安定型最終処分場
処理方法コード	301
面 積 m ²	10,000
容 積 m ³	30,000
許 可 品 目	安定5品目
設 置 年 月 日	平成7年3月1日
残 余 容 量	令和7年3月末の残余容量 5,000 m ³

令和7年3月末現在の残余容量を必ず記入

処理方法のコード番号は、コード表④を使用。
種類のコード番号は、コード表①を使用。
業種のコード番号は、コード表②を使用。

廃棄物の発生場所を記入。
県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。(※排出業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所です。)

座版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

産業廃棄物		排 出 元		収 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
がれき類	400	(株)〇〇産業社	〇〇市	(株)〇〇建設	〇〇市	なし	
コード表①	1501	コード表②	090	コード表④	345678		
産業廃棄物		排 出 元		収 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
廃プラスチック類	0.5	(株)〇〇電機	〇〇町	(株)〇〇物流	〇〇市	なし	
コード表①	0699	コード表②	300	コード表④	222222		
産業廃棄物		排 出 元		収 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
がれき類	100	(有)〇〇工建	〇〇市			なし	
コード表①	1501	コード表②	090	コード表④			
産業廃棄物		排 出 元		収 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
金属くず	1	(株)〇〇電設	〇〇県	(株)〇〇運輸	〇〇県	あり	
種類コード	1299	業種コード	110	業者コード	987654		

業者のコード番号は、コード表④を使用。
コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6桁を記入。判らないときは空欄のまま可。

県外から県内への持ち込みの「あり・なし」を必ず記入